

# 経友会

## ニュース

第12号

ご質問・お問合せ・メールのご登録は  
大阪市立大学 経友会  
keiyukai07@sakai.zaq.ne.jp

2007(平成19)年3月1日発行

## 平成18(2006)年度 経友会講座(産業経済論特講I)ダイジェスト 前年度第1回を約100名上回る743名が受講!



平成17年度から開講され好評を博した経友会提供の経友会講座もいよいよ2年目を迎え、平成18年度は「産業経済論特講I」として、後期10月5日に開講。様々な業界で活躍されている13人の講師各氏の母校への熱き思いに支えられて無事今年1月25日に終了した。今年度は、経済学部に加え商学部、法学部の卒業生も講師に招き、さらに充実した講義がおこなわれた。受講生は前年度を上回る743名となり、第3回講義からは田中記念館大ホールに会場を変更した。毎回約400名前後が詰めかける盛況ぶりだった。紙面の都合上各講師のさわりを簡単に紹介する。

### 第1回平成18(2006)年10月5日 「新しい金融サービスとプロ野球球団経営」

講師:梶原 健司氏  
[昭和43年経済学部卒]

オリックス株式会社  
取締役 執行役副社長

同社における金融業界のニッチ分野開拓や海外事業展開での豊富な経験から、広く金融サービスの変遷とリース会社の幅広い事業展開の現状を全般的にわかりやすく講義された。最後にオリックス球団(現オリックスバファローズ)設立の立役者として、プロ野球球団経営の実態を裏話なども交えながら説明された。



### 第2回平成18(2006)年10月12日 「日本の自動車産業の現況と課題」

講師:藤井 一彦氏  
[昭和50年経済学部卒]

トヨタ自動車株式会社  
フリート営業・特装部長

学生時代は応援団長として活躍され、トヨタ入社後は人事課長はじめ様々なポストを歴任された貴重な体験を基に、自動車産業の現況、とりわけトヨタにおける「ものづくり」の基礎が、創業者である豊田佐吉氏によって産み出され、さらに改善を重ね続けた自社技術蓄積の賜物ともいえるべき「ジャストインシステム」と「自動化」を基本とした独自のトヨタ生産方式にあることを、映像も使われてわかりやすく熱く語りかけられた。



### 第3回平成18(2006)年10月19日 「電気事業経営の現状と今後の課題」

講師:浅田 利晴氏  
[昭和59年経済学部卒]

関西電力株式会社  
経営改革・IT本部ビジネス  
構造改革推進Gチーフマネージャー

電気の歴史と関西電力の歩み。原子力発電が日常生活において基本発電になっていること、また原子力発電所の仕組みを説明された上で、原発事故の原因と対策などのほか、阪神大震災の教訓を踏まえ、安全で安定した電力供給の必要性について具体的かつ簡明に講義された。同社が目指す「安全最優先の組織風土の醸成」を基本としたグループ経営計画の考え方についても力説された。



### 第4回平成18(2006)年10月26日 「IT産業の変遷と現状」

講師:藤井 清治氏  
[昭和58年経済学部卒]

日本IBM株式会社  
流通事業第4事業部  
西日本営業部 部長

今日ではごく普通の言葉として使っているパソコン、SEやバケット、URL、WWW(World WideWeb)等々がいつ頃からどんなふうにも普及してきたのかを、時系列にそって明快に説明され、1995年のインターネット・エクスプローラー開発からわずか10年余りでインターネット世帯浸透率が85.4%にも達している現状から、今日ではIBMが取り組んでいるBTO(ビジネストランスフォーメーションアウトソーシング)によって多くの企業が自社内業務の外注化を進めており、そのデリバリーセンターがオーストラリアのブリスベンにあるという国境を越えたIT産業の変化と方向性をわかりやすい語り口で講義された。



第5回平成18(2006)年11月9日  
「プレハブ産業の変遷と今後の課題」



講師:福田 利夫氏  
[昭和52年経済学部卒]

積水ハウス株式会社  
TKC西日本事業部 部長

プレハブ住宅の定義とその種類を工法別にポイントを整理したうえで、戦後の住宅産業の歴史を事例を交えながら概括された。住宅の安全性が近年話題になっていることから、業界NO.1を誇る積水ハウスの耐震設計住宅と同社の従来型住宅との耐震性比較を、阪神大震災規模の地震実験映像によりきわめてわかりやすく説明された。住宅産業は少子高齢化時代を迎え、住む人にとってより心身ともに安全・安心が重要であると力説された。

第6回平成18(2006)年11月16日  
「日本鉄鋼業の現状と課題」



講師:安藤 清氏  
[昭和43年経済学部卒]

神鋼ボルト株式会社  
代表取締役社長

本四架橋の吊り橋に使われているケーブルは、神鋼社製の線材で1本当り74000本ものワイヤーが使われていることや、自動車の薄型鋼板、ビルなどのH型鋼など具体的な事例をあげて鉄鋼製品とその生産工程を紹介された。また世界的には中国・インドなどBRICs諸国での生産・消費量が拡大しているが、日本の鉄鋼業界は、世界屈指の生産技術と環境対応力を有し、メーカーとの共同開発力にも優れていることや、また徹底した合理化も進みコスト面でも十分競争力を維持できると強調された。

第7回平成18(2006)年11月30日  
「最近の日中ビジネス動向」



講師:松崎 征弘氏  
[平成18年社会人大学院  
経済学研究科卒]  
財団法人 日中経済協会  
関西本部事務局長

冒頭、中国は2020年には1人当たりのGDPで日本と肩を並べるとの中国の統計局長談から始まり、中国の貿易相手国の中で日本のシェアは凋落が著しいと指摘。さらに新聞記事の切り抜きから中国は、日本企業にとってますますその重みを増してきていると力説。今や中国は各国企業の買収に動き始め、日本企業にもじわじわその食指を伸ばしてきており、このままでは日本人が中国企業に就職する時代になる可能性を示唆した。固定観念に捉われず変化と進展に遅れないことが重要だと強調された。

第8回平成18(2006)年12月7日  
「不動産におけるビジネスモデルの変遷」



講師:池内 敬氏  
[平成1年商学部卒]  
東急不動産株式会社  
資産活用事業本部  
ファンド推進第2部 課長

不動産業は、バブル期まではすべての要素が右肩上がりを前提とし、さらに時間経過による事業環境変化リスクを想定しないビジネスモデルであったと分析。バブル崩壊後は、不動産証券化や不動産ファンド、REITに見られるように不動産がもたらす収益を基準に投資判断をするというビジネスモデルに激変した。これは外資によるゴルフ場等の底値買収を目的の当たりにしたことで、新たな不動産市場の再編につながったと論じた。

第9回平成18(2006)年12月14日  
「日本の生命保険事業の現状と今後の展望」



講師:正殿 博章氏  
[昭和50年法学部卒]

日本生命保険相互会社  
取締役 近畿営業本部長

まず受講生に事故や病気、結婚などの費用について質問があり、いかに人生にリスクとコストがかかるかを具体例で示されたうえで、貯蓄と保険の違いを説明、生命保険の重要性を強調された。さらに保険料の基本計算式から保険会社の利益基盤と支払保証制度などについて言及された。今後の課題としては、少子高齢化、契約者保護、郵政民営化を契機とした業態間競争の激化とM&Aの本格化、きめの細かい商品開発などを挙げられた。

第10回平成18(2006)年12月21日  
「百貨店業態の分析と今後の課題」



講師:島村 幸光氏  
[平成10年社会人大学院  
経済学研究科卒]  
YSソリューション代表、  
元株式会社エー・エム・ピー・エム・近鉄

百貨店やコンビニでの経営体験を基に、実証的に小売業の中でのデパートメントストアの変遷とその業態としての特徴を端的に分析され、セブン&アイホールディングスを例にコンビニ、GMS、百貨店などが大再編される時代であると強調。今日の百貨店は、先鋭化したファッション性や、食へのこだわりなどを追求しているが、さらなる課題は、高コスト・低収益体質からの脱却、委託仕入や派遣店員制などの見直しによる売上げ総利益率向上がポイントと締めくくられた。



第11回平成19(2007)年1月11日  
「大阪における労働事情」

講師:山本 晃子氏  
[昭和51年経済学部卒]

堺労働基準監督署 次長

労働行政の現場で培われた実体験を基に、今日の労働事情の問題点をわかりやすく講義された。とくに昨今増加している非正規雇用問題、とりわけ派遣社員と派遣先企業との問題は、企業の合理化と人件費の変動費化により増加している。正社員に比べ技能教育・安全衛生教育などの軽視による、労働災害の増加や精神的ストレスの増加が目立ち、さらにサービス残業の増加など、労災補償を含め労働問題が複雑化していると分析された。



第12回平成19(2007)年1月18日  
「陽はまた西から昇るか～大阪企業への期待と関西財界の役割」

講師:東 昭司氏  
[昭和42年経済学部卒]

(財)国際花と緑の博覧会記念協会  
審議役 元大阪商工会議所

財界とは何か、とくに大商を中心に明治以降の流れとその役割を歴代の会頭・副会頭の逸話も含めてわかりやすく説明された。とりわけ大阪を舞台に活躍した企業家たちは、古くは蚊取り線香から今日の電子機器に至るまで次々とヒット商品を創り出してきた。今日ではバイオビジネスコンペ JAPANや中国ビジネスへの対応など大商が窓口となって、国際的な企業家精神を育み関西復権を目指すべきだと強調された。



第13回平成19(2007)年1月25日  
「大阪の活力—変貌と再生への道—都市型集客観光からの考察」

講師:山幡 一雄氏  
[昭和38年経済学部卒]

前(財) 大阪城ホール  
理事長

大阪国際見本市、大阪万博、国際花と緑の博覧会、APEC、東アジア競技大会などのビッグイベントの経験やJETROシカゴ、ユネスコ運動での体験を踏まえ、まずは東京都との対比をやめるべきだと主張。グレーター関西(京阪神エリアはひとつ)を基本に、ラスベガスなどを例に挙げながら都市型集客産業により関西の再生を図るべきと力説された。また新たな都市格の形成に向けたさらなるソフト開発促進を強調された。



## 経友会講座講師選定裏話

第2回目の経友会講座(産業経済論特講)が終了し、2月1日には単位認定のための試験も行われた。大きなトラブルもなく無事講座を終了できたことで、経友会講座の事務局メンバーはほっと胸をなでおろしているところである。今年度で2回目の開催であったが、講師の皆さんをはじめ多くの方の協力を得て順調な運営ができるようになってきた。

経友会講座開講にあたって最も難しいのは講師依頼である。半年間の講義は13回で、13人の方に講師をお願いせねばならない。当初、どなたにどのようなお願いしているのか分からず試行錯誤が続いた。

05年度の第1回講座は13回の講義を12人の講師が担当した。12人のうち6人は「まず隗より始めよ」と講座を企画した経友会の常任幹事が手を挙げた。残る6人は、講師に立候補した幹事の友人、さらにその友人という具合に細い糸をたどって、あの方ならきっといい講義をしていただけるという方にたどり着いた。

06年度の第2回講座からは、前年度の講師の方が友人を講師に推薦したださるようになった。また、事務局メンバーも普段から、講師にふさわしい人はいないものかと心がけるようになり、ゼミの同窓会などでいい講師にめぐり合ったり、仕事の取引先の方(市大卒業生)に講師をお願いするというようにもなった。

さらに、有恒会報にも経友会講座の記事を何回か載せていただいているが、最近はその記事を見て講師に立候補される方も出てきた。

それでも経友会講座を開講してまだ2年、経友会の力不足は否めない。一橋大学の如水会(同窓会)も卒業生による講座を開いており、既に90人の講師が登録されているという。如水会に負けておれない。経友会は200人の講師登録を目指したい。

是非あなたも母校の教壇へ!!

## 会員何でも質問コーナー

Q.経友会って何?いつできたの?

A. 経友会は、1949(昭和24)年に設立された新制大阪市立大学経済学部卒業生の有志で構成された団体としてスタートを切りました。また今年度の総会決議により、現在では、学部卒業生と院修了・退学生、その教職員および退任した教職員を会員対象(会費納入者が会員登録)者とする任意の同窓会的組織ということになります。設立は1997(平成9)年で、経済学部設立50周年(1999年)記念事業企画運営に向けて誕生したわけです。一方有恒会は、1890(明治23)年の市立大阪商業学校同窓会がその嚆矢とされ、その後市立大阪高等商業同窓会、大阪市立高等商業学校同窓会から1928(昭和3)年の旧制大阪商科大学同窓会・同高等商業部同窓会へと変遷し、1953(昭和28)年大阪商科大学が新制大阪市立大学に発展的解消されるときに、大阪商科大学同窓会の名称を現在の有恒会に改め、大阪市立大学卒業生の内、商学部、経済学部、法文学部の法学科(平成5年に文学部と文学部を含む)を正会員として包容する同窓会です。つまり、昨年発足した大阪市立大学校友会の文系部門全体の同窓会ということになります。ですから、文系個々の学部の同窓会が存在していなかったことも、前述の経友会誕生を促すきっかけのひとつであったと言えます。



# 現役経済学部生vs経友会談

## ～企業社会の現実

今回は、平成17(2005)年度経友会講座(産業経済論特講Ⅱ)で講師を勤めていた(りそな銀行)の3人が、経済学部3&4回生19名に企業社会での自身の体験を基に、会选择方や面接時のポイント、企業人としての心構えなどについての率直な疑問を講師にこの座談会は、平成18(2006)年11月17日(金)に経済学部棟で実施された。



今回の参加者で就職希望が多かった銀行の実情とは

澤田氏は、「内定をもらった安宅産業が倒産の危機にみまわれ内定が取り消しになったため、あまり気乗りのしなかった大和銀行に再度面接を受けもぐりこんだものの、面接時はそろばんは不要といわれていたのに、いざ入社してみるとそろばんが必須、とくに暗算ができないとダメということで随分苦労し、ようやく2年目に試験に合格した」ことや、「当初の銀行員生活は面接時の話とはまったく違って、まさに下積みというか使い走りの仕事が長く、支店長になった頃からやっと仕事がおもしろくなったが、大きなリストラの波と合併によって大和銀行の澤田が、りそな銀行の澤田という自分でもよくわからない存在になったような気がする」と銀行員時代を振り返って述べた。



学生 銀行に就職しようと思いますが、入社してから気をつけるべきことは何でしょうか?



澤田 都市銀行はみんなどこかと合併しているので、例えば三菱東京UFJ銀行の場合だと結局三菱が実権を握っている訳。でも寄り合い世帯だから元のそれぞれのカラーは抜けていない。どちらかといえば、旧三菱はやや官僚的なイメージで、旧UFJは小回りが利くというか、はしかいというか私の個人的な意見で表現は悪いけど、いってみればスターカー銀行って感じかなあ!(笑い)

あなた方は合併後の入社だから、そういう社内の旧出身抗争みたいなのに巻き込まれないように気をつけたほうがいいと思いますよ。



学生 他の銀行も合併していますが、そのへんはどうでしょうか?

澤田 それはどこでも一緒ですよ。最近は銀行に限らず合併することが多いでしょう。そうするとどこそこの銀行の誰々です、と名乗っていたのが自身のアイデンティティでしたし、銀行へのロイヤリティになっていたと思うんです。合併しちゃうとアイデンティティは一体何なんだと思うようになりましたね。「どこの誰なんや!」自分はこの銀行員かということを求めるべきではなく、それよりも自分を磨き、自分を見失わないことが大切ですよ。



澤田氏



竹内

学生 銀行でやりがいを感じるということはなかったんでしょうか?

澤田 自分がこの会社は伸びると思って融資をした結果、その企業がどんどん成長して上場した時に、社長さんからあなたのおかげでここまでくることができましたと感謝の言葉をいただいたときは、自分の眼ききが正しかったということにすごくやりがいを感じますね。

学生 伸びると感じられるような企業ってどういうところなんでしょうか?

澤田 中小企業でも大企業でもやはりその会社の社長さんを見ますね。夢が語れて、はっきりとしたビジョンをもっている社長さんに魅力を感じますね。たとえ儲からなくてもやりたいことはやり通す社長さんが好きです。せこい社長は絶対ダメですね!

### 会社を選ぶときのポイントとは?

竹内さんの時代は、東洋紡とか大和紡のような紡績会社の花形企業。でもせいぜい20年とか30年で主役は交代している。企業は永遠ではないのでどこへ入ったところで要は自分が頑張るしかない。石の上にも3年、その会社でやりたいことへの情熱を持ち続けることが大事では。人生逆張りもありかもね。

学生 どんな業種が自分に合うのか悩んでるんですが?





# 講師のまるごと本音トーク

## とどうする就職?~

いた竹内氏(元ミノルタ)、橋本氏(住友金属工業)、澤田氏(トーア、元  
社の実情や裏話をまじえて会社人生について伝授。学生は、就職先の  
と本音でぶつけ合った異色の座談会を特集する。



氏



橋本氏

**橋本** 事務屋の場合は、製造業と金融業とは違うかもしれませんが、メーカーなら鉄鋼業であれ重電であれあまり変わらないと思います。それよりも大事なものは社風ですね。社風によってその管理職ってというのは類型化されていくと思うんです。自分の信条にフィットするかどうかポイントかな!モーレツ社員が好きな社風。多分N証券とか…。住金でいうと結構ええかげんかなあ。労務が健康のために体操やろうと決めるんですが、結局1ヶ月もしたらだんだん人が減ってくるんですね。でも誰も注意しないし面倒くさいねっていったそのうち止めちゃうんですけど、会社も困ったことだともいわないわけですよ。だからって仕事はちゃんとやってるんですけど、要は自由なんですね。「カリスマ経営者が会社をダメにする」という本におもしろいことが書いてあるんです。トップがカリスマすぎると自分で方針を決めるから、トップに好かれるためにはどうしたらいいかしら考えない人だけが出世するので、おかしいんじゃないのと考えなくなってしまいます。「上の言うことはご無理ごもっとも」と合わせるだけになっちゃうんですから、やっぱり業種じゃなくて社風でしょう!

**学生** できれば関西で仕事をしたいと考えているんですが、関西系の大企業ならどうでしょうか?

**橋本** 私も実は大阪から離れたくなかったのですが、内定をもらった会社の中で住金を選んだんですが、配属の時に「君は関西だから鹿島に行ってもらおう」で終わってしまいましたね。おかげでガールフレンドへの電話代

が高くつきました。

**竹内** 写真部の後輩の話ですけど、同じように関西希望である銀行に就職したんですが、転勤ばかりでミノルタに入れてくれといってきたんで世話をしたけど、今はコニカミノルタになって東京ですよ。人生は自分の思い通りになるとは限りません。与えられた運命を受け入れて徹底して頑張るやるしかないんじゃないかな。

### 面接時のキーポイントは

**学生** 私は順序良く話すのが苦手なんですけど、どうしたらうまく話せるようになるのでしょうか?

**澤田** 私も話下手。心がけているのは、ゆっくり話す、誠意をもって話す、気持ちを自分の言葉でしっかり伝える。おもしろくうまく話をしようと思わないことです。

**橋本** 気持ちで相手に負けない、相手に好感をもつこと、相手の言っていることを善意に解釈する、険しい顔をしないことが大切だと思いますね。

**竹内** 最初の頃は「竹内お前は話が長い」とよくいわれました。要約すると自分は何が言いたいのかを常に心がけること。普段の生活の時にも、物事を考えて話の組立を意識しておき、箇条書きにして考えをまとめることを訓練することです。

**竹内** 自分が話下手だと認識している人は大丈夫だけど、自分で認識していない人が一番問題かな。

**竹内** 話の中身のことでですけど、面接では、大企業の場合は最初は函車としてコツコツと積み重ねていくしかないんですが、自分が会社をこんな風にしていきたいと言うのは言いすぎかもしれませんが、こんなことをしてみたいと思う情熱は大切なことだと思いますね。それとその会社のいいところと悪いところをちゃんと理解して、自分はその会社の足りないところを自分ならこうしたいと言うことも必要だと思いますよ。



## 第10回経友会総会を開催

好天に恵まれた11月3日、午後から学術情報総合センター大会議室において第10回経友会総会を開催しました。

総会では、平成17年度の事業報告と同会計決算、平成18年度の事業計画と同予算がそれぞれ承認されました。事業計画では、当面、経友会講座の継続と経友会ニュースの充実、学部創立60周年記念事業に向けての組織強化等を重点に事業を進めるとの方針が承認されました。(内容については、6月の常任幹事会で認定のとおりで、8月発行のニュース第11号で掲載済みにつき、省略します。)

### 大学運営計画 積極果敢に取り組む

大学院研究科長・経済学部長  
田畑 理一氏

総会で挨拶に立たれた、田畑 理一大学院経済学研究科長・経済学部長は、特に時間を割いて、昨年春の大学法人化後、さまざまな大学運営の問題、課題に直面し、もはや過去の伝統の上に胡坐をかいて居られるときではないと、試行錯誤はあるものの大学を挙げて改革実践に取り組んでおり、今後は積極的に打って出る、との決意を披瀝されました。

その一環として、これまでも交流関係にあった韓国の全南大学と学部間での交流提携を締結し、相互に留学中の単位を認定しあうことで、平成19年度から、1年間3名を限度に交換学生の派遣が実現することや、商学部と共同し、理系学部の協力も得て、専門職大学院(MOT;Management of Technology)を開講する計画が進行中であることを話されました。MOTは現在、内容を検討中ですが、企業の中堅管理職の経営能力を高めることなどを目的とするとのこと。また、これとは別に学内の重点研究プロジェクトを選定して今後5年間、重点的に助成していく等いろいろの取り組みを進めていることを熱っぽく語られました。



経友会 木村会長



なお、今回の総会では会則の一部改正を承認しました。

#### ○会則一部改正の主な改正点

##### 改正前

- 第5条 本会は、次の会員で構成する。  
正会員および相談役  
(1) 大阪市立大学経済学部を卒業した者および大阪市立大学大学院研究科を修了または退学した者  
(2) 相談役は、退任教授のうち就任承諾を得た者
- 第6条 本会に次の役員を置く。  
会長1名、副会長10名以内、会計1名、監事2名以内  
2. 本会に次の幹事を置く。  
常任幹事 原則として各年次ごと1名以上  
幹事 原則として各年次ごと3名以上
- 第7条 会長、副会長、会計および監事は、正会員の中から推薦し、総会で承認後、本人の承諾を得た者を選任する。  
2. 常任幹事、幹事の選任は、前項に準じるものとする。
- 第11条 相談役は、本会の枢要な会務に関し、会長の諮問に応じるものとする。  
顧問は、正会員のうちから推薦され、就任承諾を得た者とする。顧問は、役員会および常任幹事会に出席して意見を述べることができる。
- 第13条 総会は会員をもって構成する。  
2. 定期総会は毎年6月に招集する。  
3. 臨時総会は、会長が必要と認めたときに開催する。  
4. 総会は、会長が招集する。
- 第27条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、3月31日に終わる。

##### 改正後

- 第5条 本会は、次の会員で構成する。  
(1) 大阪市立大学経済学部を卒業した者および大阪市立大学大学院経済学研究科を修了または退学した者  
(2) 大阪市立大学経済学部~~に勤務する教職員または勤務した教職員~~
- 第6条 本会に次の役員を置く。  
会長1名、副会長若干名、会計1名  
監事2名以内  
2. 本会に次の幹事を置く。  
常任幹事 卒業年次ごとに1名以上  
幹事 卒業年次ごとに1名以上
- 第7条 会長、副会長、会計および監事は、常任幹事会が、会員の中から推薦し、総会の承認を得て選任する。  
2. 常任幹事、幹事の選任は、前項に準じるものとする。
- 第11条 顧問は、本会の役員経験者の中から常任幹事会が推薦し、総会の承認を得て選任する。  
2. 顧問は、役員会および常任幹事会に出席して意見を述べるができる。
- 第13条 総会は、会員をもって構成する。  
2. 定期総会は、年1回定期に開催する。  
3. 臨時総会は、会長が必要と認めたときに開催する。  
4. 総会は、会長が招集する。  
5. 総会の議長は、会員の中から総会に諮って選任する。
- 第27条 本会の会計年度は、毎年6月1日に始まり、翌年5月31日に終わる。



## 記念講演 三位一体改革の問題に迫る

講師 都市研究プラザ特任教授  
木村 収氏



第2部の記念講演会では、講師に大阪市立大学都市研究プラザ特任教授木村収氏が招かれ、「三位一体改革と大都市」と題して、国の2000年地方分権一括法にいたるまでの経過とその後の進展、今後の課題等について細かな

資料・数字を使って説明されました。

地方からは、9兆円の国庫補助金削減と引き換えに8兆円の税源を地方に移譲することが要望されたが、第1期改革ではそれぞれ4兆円の削減と3兆円の移譲しか行われておらず、残りは今後の課題になっていること、また、実施された補助金改革についても、教員の給与に対する補助金にみられるような国の補助比率が1/2から1/3に下がっただけといったように中央集権的な制度そのものは変わっておらず、中途半端な補助金改革にとどまっていることを指摘されました。

また、大阪市が抱えている行財政の問題について、大都市圏の母都市であるが故に維持しなければならない高度な行政サービスと、一方で豊かな税源を有しながら画一的な税制度による不十分な配分という構造的な赤字要因等の矛盾についても言及されました。

短い時間の中で急いで話しをせねばならなかった先生には、時間的に大変苦しい講演となったこととお察ししますが、聴講する側は久しぶりに学生時代に帰って講義を聞いているような気分に入った次第です。木村先生どうもありがとうございました。

記念講演会が終了した5時過ぎから、会場を隣の談話室に移して記念パーティが開催されました。パーティには田畑科長のほか、4人の先生がたも出席され、それぞれのテーブルで先生を交えて大学の現況や今日の社会・経済のことごとを語り合うなど、大いに歓談を楽しみました。気がつけば予定の時刻が過ぎていて、ともに1年後の再会を約して別れました。



新渡戸基金懸賞論文  
経済学研究科前期博士課程 2回生  
山本 慎平さん

見事最優秀賞を受賞!

新渡戸稲造氏(前の5千円札の肖像)  
の名著「武士道」についての懸賞論

文で、山本慎平さんの「新渡戸稲造の『武士道』と日本人の『自律』—日本人の心『武士道』を現代にどう生かすか」が、多数の応募論文から見事最優秀賞に選ばれた。「武士道—日本人の心」は、敬虔なクリスチャンだった新渡戸稲造氏が1900(明治33)年にアメリカカリフォルニア州で転地療養中に英文で書かれたといわれ、米国で留学したジョン・ホプキンス大学の名誉学位論文として出版された。その後一躍有名となり世界各国で翻訳されることになり、日本の「Busido」は世界中で通用する言葉になった。また日本でも逆輸入の形で出版され、日露戦争勃発の時期であったことから、武士道が再評価される契機になったと言われている。今回は後期博士課程試験を終えたばかりの受賞された山本さんにインタビューした。

◎新渡戸稲造氏の研究を続けてらっしゃるか?

学部生の時から興味をもちまして、卒業論文も新渡戸についてでした。もちろん今もです。

## 小林 寛美さんに激励の拍手

ゲスト シンクロ銀メダリスト  
小林 寛美氏



この総会には、シンクロワールドカップ2006で銀メダルに輝いた経済学部4年生の小林寛美さんがゲストで招かれ、紹介されました。

チーム・フリーコンビネーション(10人で編成)日本代表チームのメーンジャンパーとして

活躍した演技が会場に放映されたあと、彼女はマイクを持って、初めて浜寺水練学校に入った子供の頃から今日に至るまでの生い立ちや厳しい練習の模様を語ってくれました。感心させられたのは、話すべきことを5~6枚のペーパーにまとめてきていて、ハキハキとした口調で、要領よく丁寧に話す生真面目な態度と、高い目標を掲げてひたすら努力を重ねてきた人に見られる謙虚さを具えた人であったということです。スポーツと勉学の両立を志し、敢えて難関の本学経済学部に入学したとのこと、その心意気や善し、と誰もが応援したくなります。向き合ってみると、ちょっと小柄のかわいいく普通の女学生に見えますが、なかなか芯のしっかりした人で、いまは北京五輪への代表をめざして国立スポーツ科学センターでの強化合宿や、高地トレーニング・海外遠征と多忙極める日程をこなしながらも、今春の学部卒業もめざして勉強するという、健気な学生さんである。最後に、自分が今日までやって来られたのは、本学でいい友人に恵まれたことと周囲の人々の暖かい支援のお蔭であって、本学の学生であることを誇りに思っていると、感謝の言葉を忘れなかった。若いのに立派な人である。今後の大成を期待し、見守りたい。



◎論文での趣旨はどのような内容なんですか?

新渡戸の時代は、武士階級というのが明治維新によって存在しなくなったんですね。かわって新しい産業社会がどんどん成長しだした頃だと思うんです。つまり経済と道徳の問題のなかでクローズアップされているんです。そこで彼は武士道と西欧の騎士道を比較し、キリスト教という背景を持つ騎士道のように武士道にも何らかの裏うちが必要だと考えたんですね。彼はクリスチャンでもありましたから武士道にもキリスト教と交わる必要性があると説いているのです。

◎今も同じように武士道が注目を集めていますよね。

ラストサムライとかいろいろ・・・

そうですね。ただ経済が良ければそれでいいのかという古来からの重要な課題だと思います。やはり武士道のような何か日本人の心の拠り所というか現代に通じる道徳観のようなものを捜さなければいけないと思いますね。私はでもキリスト教に裏付けされなくてもいいのではと思っています。じゃあ何が今の社会に適しているのかはこれからの私のテーマなのでまだ答えは出ていません。

今日はお忙しいところどうも有難うございました。新しい規範となるものを早くみつけて下さい。

# 第14回大阪市立大学 国際学術シンポジウム 「ヨーロッパに学ぶアジア地域統合の可能性—東アジア共同体を考える」

前月号でもご案内したように、平成18(2006)年10月27日(金)～29日(日)までの3日間、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)でEU駐日欧州委員会代表部との共催で、アジア地域統合の可能性をメインテーマとした国際学術シンポジウムが、大学院経済学研究科が主体となって開催された。中国、韓国、マレーシア、ドイツ、フランス、オランダ、欧州中央銀行、欧州委員会代表部などの主要メンバーが一堂に会し、東アジア統一通貨導入や東アジア共同体の問題点と可能性について、金児学長、ヒュー・リチャードソン欧州委員会代表部大使、田畑大学院経済学研究科長が開会の挨拶をした後、白熱した議論がおこなわれた。とくに地域の米ドル外貨準備高が急増していることから、将来的な為替変動リスク回避のためにも、統一通貨導入の必要性が強く論じられた。



## 香林坊雑感

### 第3回

## ～「新BIS規制って何?その3」～

皆さんこんにちは。香林坊でございます。本日も少しお時間を拝借致します。

さて、過去2回にわたり07/4月から我が国の金融機関に適用される「新BIS規制」についてお話してきました。今回は、なぜ(どうやら色々面倒くさいらしい)「新BIS規制」が導入されるのかという疑問にお答えしたうえで、話をまとめたいと思います。

#### 【なぜ導入?】

「新BIS規制」導入の背景としては、主に90年代以降の、次のような金融環境がありました(我が国だけでなく、米国や欧州でもほぼ同様です)。

#### ①金利設定や外国為替の自由化、大手企業の直接金融シフト

→金融機関は、昔のようにラクして利鞘が稼げない。従って、いざという時の備えとして、リスクに見合った自己資本を確保すべき。

#### ②金融工学の発展に伴って、金融商品の複雑さが上昇→規制の網の目をより細かくする必要がある。

#### ③金融機関自身のリスク管理も、次第に精緻化→大手金融機関を中心に、監督当局の規制が陳腐化。

こうした背景もあって、世界の先進各国代表者は、10年近くかけて「新BIS規制」を取り纏めたのです(少し当局寄りの見方をすれば、規制が色々面倒くさいのは、金融機関の業務そのものが、昔より複雑になっていることを反映したものかと思います)。

#### 【そもそも…】

こう申しますと、「そもそも私企業である金融機関が、なんでこんなにガミガミ言われる訳!?!」という声が聞こえてきそうです。ごもっとも。

そこは、色々議論はあるのですが、「過去の苦い経験が活かしている」というのが一応の答えになりそうです。

例えば、80年代後半から90年代初頭にかけての米国中小金融機関の破綻や、90年代後半から00年代における我が国の金融危機など、金融機関がコケるたび、資本増強や不良債権処理のため、政府(国民)は多額の公金を投入してきました(これは金融機関の担う金融仲介機能が、電気やガスといったインフラに近いものだからかもしれません)。

後になって多額のコストを負担するハメに陥るならば、普段からしっかり監督しましよよ、というのが現在の流れとなっています。

#### 【むすび】

今回のコラムでは、あえて実務的な面倒くささに焦点を当ててしまいましたが、「新BIS規制」は、もちろん美点も持ち合わせています。

大きいところでは、金融工学の発展や金融商品の複雑さを踏まえない、いわば時代遅れの規制がリニューアルされるほか、規制の枠組みは、一定のルールの下で金融機関の自助努力が報われる(頑張れば頑張っただけ所要自己資本が減少→経営の効率性がアップ)形に、全体的に組み替えられています。

今後皆さんも、新聞等で「新BIS規制」の記事をご覧になるかと思いますが。その際、このコラム記事をちょっぴり思い出して、関心を持って頂ければ幸いです。(香林坊)

昨年秋、昭和29年卒の同期会から、経友会に対して優秀学生表彰副賞金に役立ててほしいと金5万円のご寄付を頂戴いたしました。温かいご支援に感謝し、今春の卒業式で副賞金に充当させていただきましたこととしました。

#### お詫びと経友会メールアドレス変更のご案内

経友会ニュース第10号および第11号の表紙題字横に記載しておりました、経友会のメールアドレスに誤りがあり送信をされました会員の皆様には深くお詫び申し上げます。つきましては、今般同メールアドレスを変更させていただくことになりました。新メールアドレスは、本号の表紙題字横に記載しておりますが、念のため以下に掲載いたしますので、会員の皆様にはどうぞよろしくお知らせ願います。

keiyukai07@sakai.zaq.ne.jp

## 編集後記

今回は、見開き面に現役経済学部生、また武士道を語る院生にも登場いただきました。現在経済学部事務室や各ゼミなどを通じて、現役学生および院生の方々にもこの経友会ニュースを配布させていただいております。

今後さらにOBと現役の方、教職員の方々ともより緊密に連携を図っていきたいと思います。母校の現状をできるだけ多くのOBの皆様にご理解いただき、新たなコミュニケーションの場として経友会活動が少しでもお役に立てればと編集委員一同の切なる想いです。

この講堂のごみは誰が清掃するのでしょうかね。多分、跡片付けをされている講座担当者の方々は大変ご苦労をおかけしていることと存じます。一経友会講座一老受講生談—

「足もとにごみの袋を置いて帰る 君の姿や寂しかりき」(堺衆)

「最近思うこと。上も下も分からない。沈黙は金、雄弁は銀。」(香林坊)

文学部の「大阪落語への招待」開講、プレオープン興業は大ヒット。就職担当課長の公募は市大もやる気が出てきたかと世間がいい印象を与えている。市大ももっとガンバレ。(周)

若さは何ものにも勝る宝。失敗を恐れず大きな声で自分のおもいのたけを述べ、行動してくれればと思うわが身は、脳の軟化が進行してきているのかはたまた単なるオッサンか。

(浪速のベンチャー男)